

令和5年1月27日

### 「共創」から始める地域交通のリデザインの方向性について考えます。 ～「公共交通シンポジウム」を会場&後日動画配信にて開催～

人口減少や感染症の影響、原油価格の高騰、深刻な担い手不足等、公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続くなか、国土交通省が設置した有識者会議より「交通事業者相互あるいは官民や他分野との連携による「共創」の取組が重要」との提言がなされました。九州では地方自治体や他の交通事業者など様々なプレイヤーが相互にかつ前向きに連携する取組が進められています。

このシンポジウムではこのような「共創」に関する取組に光をあて、事業者・モード・官民といった様々な垣根を越えた「共創」から始める地域交通のリデザインの方向性について考えます。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

記

#### 【開催概要】

「令和4年度公共交通シンポジウム in 九州」

テーマ：アフターコロナ時代における地域公共交通の再構築  
～「共創」から始める九州の地域交通リデザイン～

開催日時：令和5年2月17日（金）13：00～17：10

※当日参加のほか、後日動画を配信します。

プログラム：別紙のとおり

参加料：無料

申込方法：九州運輸局ホームページから申込みフォームにアクセス  
（右のQRコードでも申込みフォームにアクセスできます）

申込締切：令和5年2月13日（月）

その他：パンフレットや資料等もホームページに掲載



九州運輸局 HP

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file26-3\\_00009.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file26-3_00009.html)

運輸と観光で九州の元気を創ります

＜お問合せ先＞

国土交通省 九州運輸局 交通政策部 交通企画課  
担当：榊、稲村、虎本、明受  
TEL：092-472-2315



# 令和4年度公共交通シンポジウム in 九州

## アフターコロナ時代における地域公共交通の再構築 ～「共創」から始める九州の地域交通リデザイン～

日時

令和5年2月17日(金) 13:00～17:10

会場

アクロス福岡 1階円形ホール  
福岡県福岡市中央区天神1丁目1-1

会場(96名)

+

後日期間限定動画配信  
開催

人口減少や感染症の影響、原油価格の高騰、深刻な担い手不足等、公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続くなか、国土交通省の有識者会議より「交通事業者相互あるいは官民や他分野との連携による「共創」の取組が重要」との提言がなされました。九州では地方自治体や他の交通事業者など様々なプレイヤーが相互にかつ前向きに連携する取組が進められています。このシンポジウムではこのような「共創」に関する取組に光をあて、事業者・モード・官民といった様々な垣根を越えた「共創」から始める地域交通のリデザインの方向性について考えます。

- 13:00～ **開会あいさつ** 九州運輸局長 吉永 隆博
- 13:05～ **基調講演「クルマ社会における公共交通の維持・発展に向けて(仮)」**  
流通経済大学経済学部 教授 板谷 和也 氏
- 13:45～ **事例紹介**
- ① **長崎市域における共同経営について**  
長崎県交通局乗合事業部 部長 柿原 幸記 氏  
長崎自動車(株)自動車本部自動車部 次長 江川 正樹 氏
- ② **輸送サービス連携の取組について**  
九州旅客鉄道(株)総合企画本部 経営企画部モビリティサービス推進室 室長 木下 貴友 氏  
西日本鉄道(株)まちづくり・交通・観光推進部 課長 松木 創 氏
- ③ **熊本におけるタクシー事業者の統合について**  
(株)地域交通ホールディングス 代表取締役 野々口 弘基 氏
- ④ **地方ローカル線における当社の取組(線区活用検討会)について**  
九州旅客鉄道(株)総合企画本部地域戦略部 担当部長 堀江 秀理 氏
- 15:55～ **パネルディスカッション**  
コーディネーター：大分大学経済学部門 教授 大井 尚司 氏  
パネリスト：基調講演・事例紹介の7名  
アドバイザー：国土交通省九州運輸局 局長 吉永 隆博
- 17:05～ **閉会あいさつ** 九州地方整備局建政部 部長 徳元 真一

※タイトルは変更となる場合があります。



主催：国土交通省九州運輸局  
九州地方整備局  
事務局：九州運輸局 交通企画課  
(TEL:092-472-2315)

申込方法  
はこちら

九州運輸局HPをご覧ください

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyomu/kikaku/file2-6-3\\_00009.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyomu/kikaku/file2-6-3_00009.html)

申込締切り：2月13日(月)

QRコードから申込みフォームにアクセスできます→





流通経済大学経済学部 教授

板谷 和也 氏

1975年生、長野県長野市出身。2000年東京大学工学部卒業、2005年東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了。一般財団法人運輸調査局主任研究員等を経て現職。専門は都市工学、交通政策、交通論など。バス・鉄軌道交通を中心とした都市内交通や鉄道政策、フランスの交通政策などを研究している。国土交通省「鉄道事業者と地域の共同による地域モビリティの刷新に関する検討会」委員などを歴任。



長崎県交通局乗合事業部 部長

柿原 幸記 氏

1970年福岡県福岡市生まれ。1995年長崎県交通局入局、運輸課長、経営企画室長、総務課長、経営戦略室長などを経て2021年より現職。長崎県交通局全般にわたる経営戦略をはじめ、長崎県内（長崎市、諫早市、大村市）を中心とする路線バスや高速バス等の乗合事業の総括責任者として従事。長崎県交通局における共同経営に関しては、検討段階から計画策定・実施など、現在に至るまでの総括に携わる。



長崎自動車株式会社自動車本部自動車部 次長

江川 正樹 氏

1973年長崎県長与町出身。1996年長崎自動車株式会社に入社、主にバス部門に従事する。主に申請や補助金事務に長く携わり、さいかい交通株式会社代表取締役社長などを経て、2020年4月より現職。共同経営では幹事会の一員として内外の連絡調整窓口「事務局担当」を自称。現在は長崎県MaaS実行委員長も務め、地域全体における持続可能な交通ネットワークの構築にも取り組んでいる。



九州旅客鉄道株式会社総合企画本部

経営企画部モビリティサービス推進室 室長

木下 貴友 氏

2000年九州旅客鉄道に入社。総務部人事課、鉄道事業本部営業部（観光、ICカードSUGOCAシステム・ポイントサービス導入等）を歴任し、2012年には国土交通省へ出向、経済連携交渉やインフラ海外展開などに従事。2014年に復職し、社内のIT・デジタル戦略の策定や実施を担当。2020年から現職。



西日本鉄道株式会社まちづくり・交通・観光推進部 課長

松木 創 氏

2005年上智大学法学部国際関係法学科卒業後、西日本鉄道株式会社に入社。バス部門、広報室、経営企画部を経て、まちづくり部門で地域交通計画および連節バス導入等のプロジェクトに従事。2016年に官民交流採用で国交省へ。航空局にて国際条約関係業務に従事。2018年に復職し、バス部門で事業計画や予算管理、運賃および制度関連業務などに従事。2022年より現職にて交通政策とMaaSを担当。



株式会社地域交通ホーディングス 代表取締役

野々口 弘基 氏

1959年生まれ熊本県熊本市出身。1982年肥後タクシーに入社、2013年に同社社長へ就任し、グループ代表にも就任。2021年1月より現職。日本青年会議所旅客サービス部会長、全国防衛協会連合会青年部会長、熊本経済同友会副代表幹事など複数の公職も歴任。



九州旅客鉄道株式会社総合企画本部地域戦略部 担当部長

堀江 秀理 氏

1975年生まれ福岡県遠賀郡出身。1998年九州旅客鉄道株式会社に入社、主に鉄道事業（鉄道土木）部門に従事。2021年、総合企画本部経営企画部に着任し、豪雨で被災した日田彦山線（添田～日田）のBRT化や肥薩線（八代～吉松）に関する関係自治体との調整などを担当。2022年4月、新たに発足した総合企画本部地域戦略部に担当部長（現職）として就任。地方ローカル線などの地域交通に関する業務や地域の課題解決に向けた地域連携業務に取り組んでいる。



大分大学経済学部門 教授

大井 尚司 氏

福岡県北九州市出身。1996年熊本大学法学部卒業後、旅行会社勤務を経て2007年神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了、（一財）運輸政策研究機構運輸政策研究所（現・運輸総合研究所）研究員を経て現職。専門は地域交通計画、交通経済、観光など。大分県をはじめ九州各地で地域公共交通の確保維持に携わるほか、研修講師なども多数歴任。2010年から地域交通の勉強会「地域と交通をサポートするネットワークin Kyushu（Qサポネット）」を運営（代表）。